

食欲の秋 お弁当開発

桜の聖母短大生

減塩、低カロリーに



桜の聖母短大（福島市）の食物栄養専攻2年生4人と、食品スーパー「いちい」（同）が共同開発した「秋のコラボ弁当」2種類の販売が始まった。減塩や低カロリーに抑えるなど、健康志向に仕上げた。

いちいが運営する同市の「フォーズマーケット」で1日から販売が始まった。今月末まで。このほかのいちい全店舗では16〜20日に販売する。

▲弁当をPRする（左から）阿部さん、相沢さん、坂本さん

「秋野菜とトマトのミートボール弁当」と「紅葉より豪華な弁当に目が行くでしょ弁当」の2種類で価格はいずれも598円。ミートボール弁当は、相沢琴美さん（19）と田島千紘さん（21）が考案。鶏ひき肉と豆

腐を使ったヘルシーなミートボールにトマトソースをかけて、彩りを工夫した。目が行くでしょ弁当は、阿部香奈美さん（20）と坂本陽菜乃さん（20）が考案し、サケとキノコのおにぎりなどに旬の食材をふんだんに使用している。

坂本さんは「目でも味でも楽しめる弁当を食べてほしい」とPRしている。